

老上中学校  
学校だより  
H29(2017).5.12

# 考動する老中

校訓  
「自主・創造」  
文責 辻本 長一

## 命と絆の大切さを実感

### ～3年生 沖縄への修学旅行にて～

4月23日から25日まで、3年生が沖縄方面に修学旅行に行きました。129名全員参加で、天気にも恵まれ、有意義な旅行となりました。

旅行のスローガンは「みんなで学ぼう 大きな HEY! 和」。日本で唯一地上戦が行われた沖縄の地で、命の尊さについて改めて考えた実りある旅行となりました。

また、事前の準備も含めた旅行全体をとおして、相互の理解を深めていく中で、絆の深まりも感じる事ができたのではないのでしょうか。

「命どう宝（ぬちどうたから）」…これは「戦争」という今の私たちには想像も出来ない悲惨な過去の体験から生まれた「命こそ何よりの宝」という意味の沖縄の言葉です。地元ガイドさんの心のこもった説明にも何度も出てきました。二つのガマ（沖縄戦で住民が避難した洞窟）と読谷村役場での平和学習フィールドワークをとおして、その言葉の意味を誰もが実感しました。平和セレモニーでは、事前学習で作成した平和宣言文を心に刻みながらみんなで読み上げ、最後に、戦争は二度としない、差別をしない、いじめをしないという気持ちで黙祷を捧げました。

伊江島での民泊体験。民泊先の家族との劇的な出会い、家族の案内による城山（ぐすくやま）、伊江ビーチ、ハイビスカス園などの観光、郷土料理をいただきながらの楽しい会話など、沖縄の自然や文化を満喫できるひと時でした。「イチャリバチョーデー」（沖縄方言で、「一度出会えば兄弟」の意）の心で、本当に温かく接していただきました。

2017年 老上中学校 平和宣言文（一部抜粋）

……

私たちは、平和学習の中で命の尊さと今ある平和の大切さを学びました。そして、戦争が起こる原因は、自己中心的な考えや、自分たちの利益を求め、相手の気持ちを考えないことにあると気づきました。

日本は今、戦争をしていません。けれど、私たちの身近には「いじめ」や「差別」という人権侵害がたくさんあります。これらが起こる原因も戦争と同じではないでしょうか。

今でも世界のどこかで起こっている戦争やテロを私たちが止めることは難しいかもしれません。しかし、身近にある「いじめ」や「差別」は止めることができるはずです。

私たちに今、できること、私たちが今、すべきことは何なのか。

- 一つ、言葉一つ一つの重みを理解し、自分の言葉に責任を持ちます。
- 一つ、戦争の悲惨さ、残酷さを忘れず、次の世代に伝えていきます。
- 一つ、毎日があることに感謝し、一日一日を精一杯生きていきます。

……

2017年4月23日

草津市立老上中学校 三年生



チビチリガマでの平和学習



シャッターチャンスを狙ってパシャ！  
世界最大の魚類「ジンベイザメ」  
（美ら海水族館にて）



伊江島へのフェリーにて  
沖縄の自然を感じて……



ハイポーズ！  
（城山頂上にて）



この絆、いつまでも！  
（伊江島にて）

# 社会に目を向けよう！ ～NIE（新聞を活用する教育）の取組を通して～

本校は昨年度と今年度、NIE（新聞を活用する教育）の実践校になっています。授業において新聞を活用することにより、その表現に学び、広く社会に目を向け、さまざまな出来事を知り、社会の一員として自分の生き方を考える取組を進めています。

昨年度の2年生（現3年生）がその成果として、今の自分の思いを新聞社に投稿し、多くの生徒の意見が掲載されましたので、その一部を紹介します。

なお、昨年度に引き続き、数社の新聞を毎日提供していただいていますので、生徒の皆さんは、図書室で自由に新聞を読んでください。

## 外国人から評価

村上 祐貴

アニメやマンガは日本が世界に誇り、世界からも評価を受けているすばらしい文化である。しかし、一つの問題がある。日本ではアニメが好きな「オタク」が差別され、オタクまでいっていない人も変な目で見られてしまうのが現状である。

その理由について、私はこう考えた。アニメやマンガは比較的新しい文化だ。人は新しいものを警戒しがちなので、そのことが関係していると思う。また、「アニメ好きは普通と違う」と感じる人が多数派だから、差別が生まれているのだ。

しかし、アニメやマンガはもう日本の文化として定着している。みんなが好きにならずとも差別くらいはなくしていきたい。個性は大切にしたいと私は思う。

H29(2017年)4月25日 読売新聞に掲載

## 「歩きスマホ」大人もやめて

高辻 日菜

私はこのごろ、「歩きスマホ」をしている大人が多いなあと感じています。スマートフォンでゲームをしている人やLINE（ライン）やツイッターをしている人がたくさんいます。その中でも、歩きスマホをしている人は、半分以上が大人です。

大人は子供に向かって「スマホばかりしてはだめ」とよく言います。でも子供以上にスマホばかりしている大人をよく見かけます。子供に、してもいい事や悪い事を教えるのは、大人の役割です。それなのに、その大人が社会の基本的なルールさえ守れていないのです。

最近、歩きスマホをしてけがをしたり、事故に遭ったというニュースが増えてきています。

歩きスマホをしている人は、自分の身の安全も、周りの人の安全も考えていないと私は思います。「スマホを使わないで」とまでは言いません。でも、せめて、もう少し自分の身の安全や周りの人の安全も考えて、他の人の迷惑になるようなことはしないでほしいと思います。

H29(2017年)5月10日 毎日新聞に掲載

## お互いの親睦を深めるために

### ～1. 2年生が帰帆島遠足に～

2年生は24日に、1年生は25日に、相互の理解を深めるため、帰帆島に遠足に出かけました。学級ごとに計画したレクリエーションを楽しんだり、自然のなかで一緒に食事をしたりしました。日頃はあまり話をしない人とも話ができるなど、親睦が深まったようです。

さて、新年度、新しい学級でスタートして一ヶ月あまりが経ちましたが、学級内ではたくさんの人と話ができたでしょうか。ちょっと勇気を出して、さらに多くの人に声をかけて話を聞きますか。新しい発見があると思います。

「就職して先輩に『君はもっと人の話を聞かなあかん』と言われたので、そのことを意識したら、それまでよりたくさんの方が僕に話しかけるようになりました。」これは、私の教え子が卒業して何年も経って、再会したときに私に語ったことです。私も「聞くこと」が下手なので、もっとしっかり人の話に耳を傾けないといけないなど反省することがよくあります。

「人の話を聞こうとすること」このことは、周りの級友の新しい発見にも、新たな学びにもつながるのではないのでしょうか。



レクリエーション（1年生）



ジャンプ！（2年生）